６　その他

参考となるサイト

・鳥獣被害対策について（静岡県経済産業部農業局食と農の振興課）
https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/nogyo/chojugai/1027194.html

・埼玉県農業技術研究センター　鳥獣害防除担当
https://www.pref.saitama.lg.jp/b0909/shin-choujuugai.html

・農林水産省鳥獣被害対策コーナー
https://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/index.html

・（国立研究開発法人）農業・食品産業技術総合研究機構畜産研究部門動物行動管理グループ（鳥獣害つくば）
https://www.naro.affrc.go.jp/org/narc/chougai/

７　ナメクジ類・カタツムリ類の防除対策

多湿で有機物の多い環境に発生しやすいので、ほ場環境を改善することが重要である。また、多発時にはナメクジ類・カタツムリ類駆除剤により被害を回避する。

（１）耕種的対策

・畑を乾燥状態に保つ。
・餌となる作物残渣や雑草などをほ場周辺から除去する。
・潜行場所となるコンクリートブロック・石・不要の鉢などをほ場周辺から除去する。
・酸性土壌を好むので、石灰を施用して酸性を直す。

（２）ナメクジ類・カタツムリ類駆除剤

・薬剤の選定は、農薬検索システムの作物分類「茶・その他」を選択し、作物名「ﾅﾒｸｼﾞ類、･･･」で始まる項目を参照する。
・メタアルデヒドを主成分とする水和剤は、作物にかからないように土壌表面処理をする（かんきつ、レタス、キャベツ、花き類・観葉植物には直接散布する。使用方法、時期は、それぞれの作物の頁を参照する）。
・燐酸第二鉄を成分とする粒剤は、作物の周囲あるいは株元の土壌表面に施用し、誘引・殺虫する。

＊ナメクジ類・カタツムリ類駆除剤を使用する場合の一般的注意点

・ナメクジ類・カタツムリ類の行動に好適な条件である、土壌が湿っているときや空気中湿度の高い日の夕方に施用すると効果が高い。
・薬剤が作物にかかったり、接触しないようにする。作物体上に粒が残った場合は払い落とす。